

『知力』 ～ 『良書を読み、有益な話を聞き、自分以上の人と交わる』 ～

2024年6月1日 新渡戸稲造記念センターに寄って、早稲田大学エクステンションセンター中野校での『ジャンル 人間の探求』：【がんと生きる哲学 医師との対話を通して「がん」と生きる方法を考える】(10:40～12:10)に赴いた。テキストは『新渡戸稲造 壁を破る言葉』(三笠書房2023年10月15日発行)を使用した。

今回は【2章15節『「飯の食いだめ」も「心配のしだめ」も役に立たない』 & 16節『くよくよして、今日を浪費するな』 & 17節『いつもニコニコしている人は偉大である』】の箇所を受講者に音読して頂き、質問を受けながら進めた。

新渡戸稲造(1862-1933)の『知力』 = 『良書を読み、有益な話を聞き、自分以上の人と交わり、ときには瞑想して心に得たことを、心の蔵の中に深く入れるようにしたい』(83ページ)が、大いに話題となった。大変有意義な充実した学びの場であった。

その後、受講者の方と中野駅→四ツ谷駅→新井宿駅に向かった。『2024年度 がん哲学外来 鳩ヶ谷メデイカルカフェ』3周年記念特別講演会(鳩ヶ谷福音自由教会に於いて)に赴いた(添付)。講演後は壇上で峰岸大介氏によるインタビュー形式の多数の質問と会場からの質問を頂いた。その後、筆者は別室で、個人面談の時間が与えられた。スタッフの皆様の『心温まる おもてなし』には、ただただ感謝である。

また筆者は、【がん病理学者が読む聖書『ヨブ記』～なぜ、こんな目にあわなければならぬのか～】(2023年10月15日 いのちのことば社 発行) (添付)のサイン(5冊)を依頼された。大いに感動した。涙無くして語れない!

さらに、この度、『3周年記念記念誌』制作が決定された。皆様の【『真摯な姿』と『速効性と英断』】には、ただただ感服した。大変貴重な『新井宿の旅』となった。

2024年度 がん哲学外来 鳩ヶ谷メディカルカフェ

○がん哲学外来「メディカルカフェ」とは
2人に1人は「がん」にかかると言われる時代。
皆が抱える「悩み・不安・想い・願い」などを、お茶を飲みながら語り、分かち合い
ゆったりとした雰囲気の中、帰るときには心が軽くなる…そんな場所です。
全国200カ所を超える教会、病院、公共施設などで開催され、
がんを患うご本人だけでなくご家族、ご友人、医療関係者、関心のある方など
様々な立場の方が参加されています。お気軽にご参加ください。

2024年 **6月1日(土)** 14:30～ (14:00開場)

第19回 3周年記念特別講演会

講師 **樋野興夫** 先生



樋野 興夫 (ひの おきお)
1954年、東京都生まれ。一般社団法人がん哲学外来常務理事。2008年「がん哲学外来」を開設、医療現場にある「疑問」
を究める活動を行っている。順天堂大学名誉教授、新薬開発センター長、東京女子大学理事。
著書に「がん哲学へようこそ」(新誠新書)、「明日の世を去るとしても、今日の花に水をあげなさい」(知恵舎)など多数。

会場 **鳩ヶ谷福音自由教会**

〒334-0001埼玉県川口市桜町6丁目11-12
教会 ☎ 048-285-6060

開催日程

- 第18回 4/6 (土)
 - 第20回 8/3 (土)
 - 第21回 10/5 (土)
 - 第22回 12/7 (土)
 - 第23回 2/1 (土)
- 13:30～15:30
(13:00開場)

感染症対策 についてのお願い

マスクの着用、検温、手指の消毒
換気をさせていただきます。



国際興業バス「鳩ヶ谷公園住宅前」行き「鳩ヶ谷浄水場入口」
下車徒歩2分。
埼玉高速鉄道「新井南駅」下車2番出口徒歩8分。

参加無料。事前にお申込みください。

主催：鳩ヶ谷メディカルカフェ世話人会

後援：一般社団法人 がん哲学外来

お申込み、お問い合わせはこちら

☎090-6021-3172 (担当 峰岸)

hatogayacafe@gmail.com

お名前と当日連絡がつく電話番号をお知らせください。

がん病理学者が読む
聖書「ヨブ記」

樋野興夫

Hino Okio

なぜ、こんな目に
あわなければ
ならないのか

思いがけないことが起きた時、
あなたは どうしますか？

がん哲学外来で多くの患者と向き合ってきた著者による現代人の
重荷に寄り添うエッセイ。聖書「ヨブ記」を通して何千年もの間、
人類が直面してきた「問い」を考える。

Forest●Books 定価(本体1,600円+税)